

北部 市街地

まちなか交通通信

この通信は、北部市街地の交通対策の検討について、地域の皆さまにお知らせするものです。

第22号

第22回連絡協議会を開催しました

令和6年12月23日（月）やまぶき会館にて、第22回「北部市街地自治会交通対策連絡協議会」を開催しました。

今回は、交通シミュレーションとアンケート調査結果を含むオーバーツーリズム対策事業の進捗状況の報告を行ったあと、令和7年度の交通対策の取組内容について意見交換を行いました。



1 川越市オーバーツーリズム対策の進捗状況について

市では、令和6年度から国の施策を活用して複数のオーバーツーリズム対策に取り組んでいます。各対策の概要と進捗状況について、市の担当各課より報告を行いました。

＜対策＞	＜進捗状況など＞
適切な交通規制のあり方の検討	交通シミュレーションとアンケートを実施済（結果は下記2へ）
公共交通の利用促進（スマートバス停）	バス事業者によりスマートバス停設置工事を実施済。
行列・混雑の解消支援（整理券システム等）	整理券システムの導入店舗に対して補助予定。
滞留スペースの確保（伝建調査）	一番街の3店舗で滞留空間確保の実証実験を実施済。
パークアンドライド事業の拡張性等に関する調査検討	ナンバープレート調査（車両の登録地、通過時間、台数等を調査）を実施済。併せて観光用駐車場のあり方も検討中。
駐車場の混雑・満空状況の情報環境整備	郊外型駐車場等への情報発信機器の設置が完了し、R7年1月からデジタルマップ等で満空情報を発信予定
多様な観光拠点への誘客促進とネットワーク化等による分散化の推進	R7年1月から、喜多院など5拠点で楽しめるARコンテンツの運用を開始予定。中央通り等で無電柱化を計画。
マナー啓発動画・掲出物等の作成及び周知	R7年1月から、マナー啓発に関する動画の公開、ステッカーやミニのぼり旗等の掲出物を配布予定
ごみポイ捨て防止対策の支援によるまちの環境美化	スマートごみ箱を設置する団体、ごみポイ捨て防止に取り組む商店街等に対して補助予定
混雑緩和、マナー向上に向けた観光情報の一元的な発信	R7年1月から、観光客向けにリアルタイム情報を提供するデジタルマップを公開予定

2 交通シミュレーションおよびアンケート結果について

【交通シミュレーション結果の報告】

東京大学生産技術研究所の本間裕大准教授との共同研究により、5つの交通対策案（一方通行4案と歩行者天国1案）を実施した際の周辺交通に与える影響（交通量の変化や各交差点の渋滞状況）等について、データ分析を行いました。

＜交通シミュレーションの結果概要＞

- ◆いずれの交通対策案でも、市街地全体の交通量を10%削減すれば、交通状況は現状と同程度となる
- ◆バスの広域迂回による渋滞軽減効果は限定的で、大きな変化は期待できない



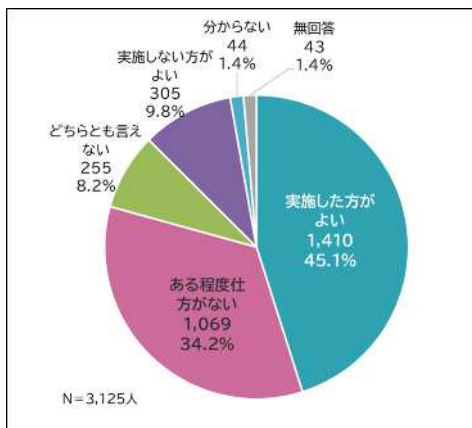
【アンケート結果の報告】

北部市街地 21 自治会の全世帯及び一番街沿道の店舗等関係者へ、現在の交通環境への所感や交通対策案（案 1～4：一方通行、案 5：歩行者天国）について、アンケート調査を実施しました。

結果としては、交通規制の実施に対して比較的肯定的な傾向で、歩行者天国案が最も多く回答された一方、規制の影響を受ける地区はより少ない実施日数を選ぶ等、地区別に差が見られました。

住民向けアンケート結果のまとめ	
現在の交通状況	・ 約 85% が危険な状況と認識
交通規制の実施について	・ 交通規制に比較的肯定的な傾向（右図参照） ・ 一方で交通規制実施時の周辺道路の渋滞等も懸念されている
交通対策案	・ 約 44% が歩行者天国案と回答
歩行者天国の実施日	・ 約 37% が年間土・日・祝に実施と回答 ・ 規制の影響を直接受けるエリアの方は、より短い日数と回答する傾向
歩行者天国の実施時間	・ 約 45% が「10 時～16 時」又は「10 時～17 時」と回答
路線バスの迂回	・ 約 55% が現状と同じ迂回路と回答
その他の意見	・ 観光客へのマナー啓発を求める声が約 300 件

Q. 交通規制を実施することについてどう思いますか。



3 今回の協議会でいただいた主な意見

今後の交通対策として、令和 7 年度、春秋の大型連休時等に、試行的に一番街で歩行者天国を実施し、影響や効果を確認する案について市より説明を行い、その後意見交換を実施しました。

主な意見		
交通規制の実施について	実施日時について	・ 実施日は観光イベントの日時と被らないようにしてほしい。
	交通規制の実施について	・ 他にも商店街はあり、観光客分散化を図る中で、一番街のみで歩行者天国を実施して人の集中を促進することが果たして良いのか。 ・ まつり開催時の交通量データ等を使って、規制時の渋滞対策をしっかりと検討したうえで実施してほしい。 ・ 交通規制により周辺の渋滞が悪化して危険性が高まることが心配。対策がしっかりとされないなら、規制は実施してほしくない。
	交通規制の対策について	・ 渋滞対策や観光客対策としてパークアンドライドや公共交通機関利用促進、マナー啓発を市で検討しているが、他力本願な取組みだと感じる。 ・ 交通シミュレーションで交通量を 10%削減することで渋滞が深刻化しないといったが、そのためには車両を何台分減らしたり分散させればよいのか知りたい。
交通環境改善（交差点改良）について		・ 信号機改良により渋滞を解消させて交通量 10%減につなげることができるとは。 ・ 渋滞により住宅街の狭い路地に車が入りこんで危険だ。交差点渋滞や狭い道路での人と車の接触の危険性について、警察の考えや検討状況を具体的に知りたい。
協議会の実施方法について		・ 資料は一枚で全体像を把握することができるものがあるとよい。 ・ 意見しやすいよう、分科会のような形式にしてはどうか。
その他		・ 生活道路と観光客向けの通りが一緒になっているため長年議論が進まない。 ・ アンケートの問い方で 100 日程度の回答が多く見える。設問が恣意的に感じる。 ・ 一番街の平日日中の外国人観光客は 5～6 割はいる。実態をしっかりと把握して。

次回の協議会

令和 7 年 1 月 29 日（水）18 時 30 分～

場所：川越市役所本庁舎 7 階 第 1・5 委員会室

今回のご意見を踏まえた令和 7 年度の交通対策の実施内容等を報告予定です。

お問い合わせ先

※「まちなか交通通信」は市ホームページでも、ご覧いただけます。

北部市街地自治会交通対策連絡協議会事務局

川越市 都市計画部 交通政策課

〒350-8601 川越市元町 1-3-1 電話：049-224-5519（直通）FAX：049-225-9800

